

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2003-500644(P2003-500644A)

【公表日】平成15年1月7日(2003.1.7)

【出願番号】特願2000-620336(P2000-620336)

【国際特許分類】

G 01 N	33/483	(2006.01)
G 01 N	24/00	(2006.01)
G 01 R	33/465	(2006.01)
G 01 R	33/32	(2006.01)

【F I】

G 01 N	33/483	E
G 01 N	24/00	D
G 01 N	24/08	5 1 0 Q
G 01 N	24/02	5 3 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月5日(2005.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】患者から採取した便試料を磁気共鳴スペクトル法に付すステップと、その結果得られたスペクトルを癌にかかっていない被験者から採取した便の磁気共鳴スペクトルと比較するステップとが備わっており、観察されたスペクトルの違いが癌の指標である、患者における結腸直腸腺腫および結腸直腸癌の存在を検出する方法。

【請求項2】便試料が、2次元相関核磁気共鳴スペクトル法に付される請求項1に記載の方法。

【請求項3】便試料が、¹H対称化相関磁気共鳴スペクトル法に付される請求項2に記載の方法。

【請求項4】便試料が、360¹MHz磁気共鳴スペクトル法に付される請求項2に記載の方法。

【請求項5】患者の便の試料を回収するステップと、この試料を磁気共鳴スペクトル法に付すステップと、その結果得られたスペクトルを癌にかかっていない被験者から採取した便の磁気共鳴スペクトルと比較するステップとが備わっており、観察されたスペクトルの違いが癌の指標である、患者の体内における結腸直腸腺腫および結腸直腸癌の存在を検出する方法。

【請求項6】便試料が、2次元相関核磁気共鳴スペクトル法に付される請求項5に記載の方法。

【請求項7】便試料が、¹H対称化相関磁気共鳴スペクトル法に付される請求項5に記載の方法。

【請求項8】便試料が、360¹MHz対称化相関磁気共鳴スペクトル法に付される請求項5に記載の方法。

【請求項9】便試料の液状懸濁物を作るステップと、この懸濁物を磁気共鳴スペクトル法に付すステップとを含む、請求項1から8のいずれか1項に記載の方法。